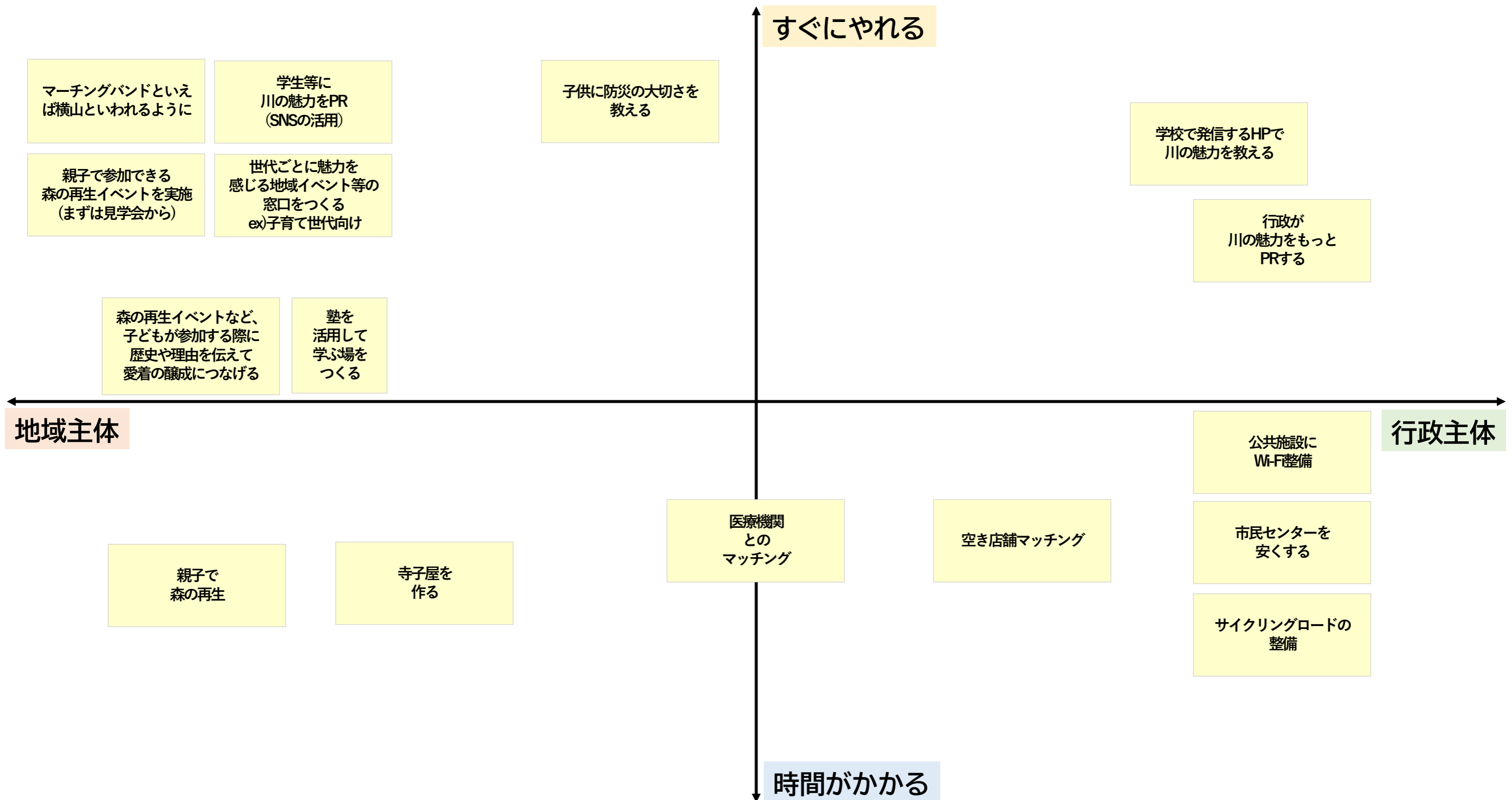


ありたい姿

自然と文化を通じた多世代交流のまち梶田

想い

湯殿川をはじめとする自然やそこでの活動、横山南マーチングバンドフェスティバルなどの文化、放課後子ども教室、子供食堂、空き店舗を活用したカフェなどを通じて、世代間交流を広めたい。



理念作り

コンセプト作り B-1

- ① 地区の歴史(過去・現在)を未来に活かす
 - ・調査発掘：(古老、歴史マニア、書述家、学者、お寺さん)
 - ・伝える：小中校への出前講座
梶田発寺子屋(誰もが賢者 =シニアの出番)
 - ・フォロー：？
- ② 新しい何かの創造(知識でなく創造力の醸成)
 - ・小中高生の妄想・アイデア募集・発表会
梶田(八王子)から全国へ
 - ・同発表会別室でシニアの妄想・アイデア発表
 - ・上位入賞者に奨励金
 - ・審査員は起業家・専門家・バンク・若者・バカ者

交流イベントを通じて

【目立つイベントの立ち上げ】
マーチングバンドなど好例。これを域外にも拡げる地域のPR効果を狙う

横山南地区としての文化交流の場を作り、街おこしを実施、実現する
横山南マーチングバンドフェスティバル

令和4年度5月に実現し次世代へ継承する

中～大学生が地域で活躍できるようにする

空き家や空き店舗などを多世代交流拠点として活用する

【多世代交流】
放課後子ども教室に中学生や大学生を呼びこむ(参加者or見守り)

【多世代交流】
空家空店舗他を活用したカフェ(居場所) アルバイトは大学生

居場所作り

【シニアと子どもとの交流をより活発に】
地域内では各種交流が行われているが体験的活動の場をより多く持つことが必要

公園等の花植え 学校の花だんづくりなど多世代交流できる場をつくる

公共施設を有効活用する

【地域のシニア、大学生、小中学生との交流をより活発に】
学校側への協力 学生たちとの防災協働

市民センターの活用
体育施設→増やす 利用の少ない和室など→料金を下げる

【子育て世帯、学生への支援】
子供食堂のような、食品ロス回避のため兼ねて。地域住民、NPO法人、シニアクラブの協力 場所設定が課題

イベント等を通じて交流の機会を生み出す

通学路の整備

通学路の整備を千葉県の事故を考えると早急な整備が必要

教育

【少子化に向かう中、小中一貫校の実現】
現実には小中交流が進んでいる 市教委の方針次第

町会

【町会】
開かれた町会に防災訓練など会員でない住民にも呼びかけ
町会加入率 55.6%
自主防災組織結成率 85.8%

歴史

【歴史的遺産である梶田公園、万葉公園など、より整備・PRを】
行政、町会のスタンスが課題(みんなが気軽に集える場所としても)

高齢者

【進む高齢社会を見据えて高齢者が一休みできる場づくり】
公園、空地、一般家庭の庭先など活用 行政、地主などの協力が課題

シニアの人材活用

個人の課題解決支援
一尊敬されるシニア
リタイヤ後のシニアのスキルを登録する人材(?)バンクを作り、自分ひとりでは解決できない課題で困っている地域の方々とはマッチングできる仕組みを作る
支援時は必ず複数人で支援する

シニアの再活用(創造)

無料で貸してくれるJR・京王線駅近の空き店舗など、格安珈琲と新聞(販売店の寄付)を読めるスペースを確保。平日のみ。
集まったシニアの会話の中から新しいグループ・アイデアが出てくれば素晴らしい。
自由闊達な空間から新たな創造を産む(若者には負けない...)
人生百年 年寄りには迷惑かけない

開発

【「若者がおカネを落としてくれるまち」に】
例えばめじろ台駅ロータリーは、パーミヤン、靴屋など相次いで撤退 電鉄会社など大手の営業力を期待するしかない

【交通】
リニア中央新幹線へのアクセスを
めじろ台からみなみ野までのバス路線を開く

大きな家族

家族団らん、健康、えがお
湯殿川沿いの散歩道路の片側を土日祝日にサイクリングロードとして開放 家族でのんびり参加(会話が弾む)できるのんびりコース
(事情ある子どもも)一人で参加(要予約?バイク無料貸出し)できる体制を
スポーツ系福祉系NPOと協力要

環境

未来に残す環境 A1

- ① 小中学生向け「緑地保全と一緒に考えるフィールドワーク体験会」を季節毎に開催
レクチャーを通じた学びと実際の作業を結びつけることで、理論と実感が判り深い学びが得られる 環境NPO協力(蛇に注意)

地域の自然環境を整える

横山南地区に多くある緑地の設備を10年かけて整備して、きれいな街作りの実現

川、治水 自然保護

未来に残す環境 A2

- ② 湯殿川の治水についてフィールドワーク
→ローカルな湯殿川設計と実際
→グローバルな治水と歴史(政治の要)
小中学校と連携協働事業として「夏休みの課題研究」等提案
町会自治会と学校の協働

地域の川などを市民が憩える場所にする

【湯殿川、山田川の整備】
地域の川として散歩道、カワセミ、ホタルなどを見ることができるとまちなど情報発信を

公共の場

コンセプト作り B-2

- ③ 梶田地区のコアを作る(道路工事前から公園作りへ転換)
・山一面に桜を植え名所とする
・サイクリングロードを整備

【みんなのあそび場】
公園アドプト制度を活用して特色ある公園を増やしてゆく
トイレは全公園に

防犯

安全パトロールなどお願いする